

# “使いやすさ”を追求した工程管理システムで 金型製造の生産性向上に貢献する

## 第1回 (株)リバース・データシステム

リバース・データシステムは金型製造業向け生産工程管理システムの開発・販売を行っている。1986年の設立時は DNC システム（1台のコンピュータで複数の NC 工作機械を制御するシステム）の開発・販売を行っていたが、90年代前半頃、同社の DNC システムのユーザーである金型製造業の顧客から製造の計画、工程管理についての要望を聞いたことをきっかけに金型生産工程管理システムの開発に取り組んだ。2003年から販売している「Simple Schedule Editor」は現在、大手自動車メーカーの金型製造部門、1次サプライヤー、金型メーカーなどに採用実績がある。今後は中規模以上の金型メーカーや金型製造業以外の受注生産型企業への採用を目指す。

### 導入してすぐ運用できるシステム

金型の製造現場では日々の業務で、急な設計変更、改造、飛び込みでの作業などイレギュラーな事態が発生すると、工程を見直して調整しなければならないが、非常に時間と手間がかかる。金型メーカーは規模の大小にかかわらず、何らかの生産管理や工程管理を行っている。しかし、実態は人の手に頼っている部分が多く、工程表を作成した人や、経営者、仕事の内容を熟

知した一部分の人しか全体の工程、作業の進捗を理解していない場合がある。社内全体で情報を共有できていない結果、客先への納期回答の遅れ、機械稼働率の低下や特定の設備への過重な負荷が発生してコストの増大を招いてしまう。

現在、さまざまな機能をもった工程管理ソフトがあるが、高価であり、操作がわかりづらく、稼働するまでの準備に何カ月もかかり、導入がなかなか進まないのが実情となっている。

「工程管理ソフトは運用が簡単で、導入後、その日から使えるシステムが理想的です」とリバース・データシステム社は説明する。

同社が開発した「Simple Schedule Editor（以下、SSE）」（図1）はマウス操作やタッチ操作のみで完結し、時間がかかる基本情報入力も工程名と加工機名を入力するだけという使いやすさがある。オプションとなる原価管理のシステムは低価格で維持のしやすさが評価されている。

SSE の特徴と機能は次のとおりである。

- ・チャート上のアイコンやバーをマウス操作やタッチ操作するのみで、工程・工順の作成、およびリソースへの加工計画の割り付けが行える。
- ・計画の作成時に工数が不明でも日程計画が発行できる。
- ・計画の変更・再調整などもチャート上のバーを自在に編集することによって行える。
- ・従来の工場内の掲示板に加工計画を貼り付けていくイメージで、加工計画の作成、変更が行える。
- ・機械ごとの日程は、現場の状況に合わせて加工現場の作業でも決定できる。
- ・緊急時の計画外の工程計画は作業側で作成できる。

### 時間がかかるデータ入力作業を 大幅削減

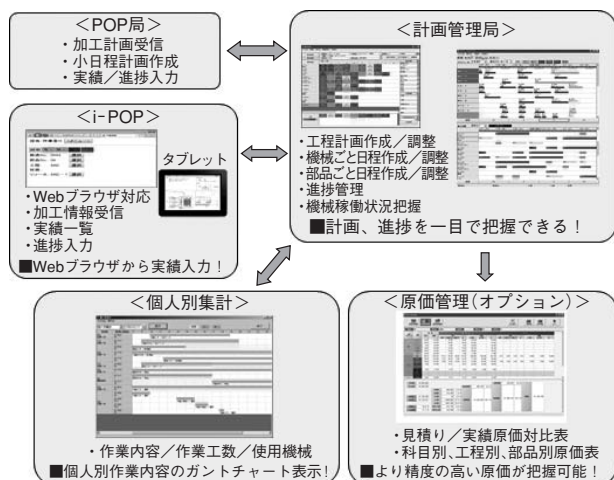


図1 SSEの概念図

あるダイカスト金型メーカーの事例では工数管理、